



PRESS RELEASE
報道関係 各位

2023年9月5日
公益財団法人日本パラスポーツ協会
日本パラリンピック委員会

車いすバスケットボールの香西宏昭選手が、
国際パラリンピック委員会公認教材『I' mPOSSIBLE(アイムポッシブル)』日本版の
初代アスリートアンバサダーに就任

日本パラリンピック委員会(JPC)『I' mPOSSIBLE』日本版事務局ではアスリートアンバサダー制度を設立。
初代アンバサダーに東京 2020 パラリンピック車いすバスケットボールで銀メダルを獲得した香西宏昭(こうざい
ひろあき)選手が就任しました。

■香西宏昭選手 アンバサダー就任コメント

小さい頃は、自分の未来の選択肢があると想像ができなかったのですが、車いすバスケットを通じて留学をしたことで、様々な方々に出会い、多くの挑戦をさせていただきました。しかし、これは自分自身が環境に恵まれていたためであり、いまだにそのような機会がない障害のある子どもたちがたくさんいることにも気づきました。社会環境を変えていくことで、どんな人でも自分のやりたいことに向き合える、それが当たり前のこととしてできる社会であるように、『I' mPOSSIBLE』日本版と共に、その実現に向けた活動の一翼を担える場をいただいたことを光栄に思います！

* 香西選手の海外生活や子どもたちへの思いなど特別インタビューを『I' mPOSSIBLE』日本版 HP で近日公開! 『I' mPOSSIBLE』日本版 HP <https://www.parasports.or.jp/paralympic/iampossible/>

■香西宏昭選手 プロフィール

香西宏昭 プロ車いすバスケットボール選手

東京 2020 パラリンピックで銀メダル獲得。国内所属チーム「NO EXCUSE(ノーエクスキューズ)」。

<https://www.hiroaki-kozai.com/profile/>

 I' mPOSSIBLE



<本件に関するお問合せ先>

日本パラリンピック委員会『I' mPOSSIBLE』日本版事務局

E-mail: paraedu@parasports.or.jp

(お問合せは、原則メールでお願いいたします)



1. 『I'mPOSSIBLE』日本版アスリートアンバサダーについて

■香西宏昭選手『I'mPOSSIBLE』日本版アスリートアンバサダー就任の背景

『I'mPOSSIBLE』日本版の教材では、香西選手のアスリートとしての姿を通じて、パラリンピックの4つの価値(勇氣、強い意志、インスピレーション、公平)のうち「勇氣」「強い意志」について考える授業を展開してきました。多くの子どもたちと未来を創る活動を展開している同選手の姿は「インスピレーション」を与え、メッセージには、「公平」を含むパラリンピックの価値や、パラリンピックが目指す「インクルージョン(誰も排除しないこと)」が体现されています。香西選手に『I'mPOSSIBLE』日本版教材の普及啓発活動に関わっていただくことで、多様性が尊重されたインクルーシブな社会づくりの理解者が増え、その動きを加速できると考えました。

■『I'mPOSSIBLE』日本版アスリートアンバサダーの活動予定

『I'mPOSSIBLE』日本版に関連するイベントやメッセージ動画などに登場し、パラリンピアン立場から、パラリンピック教育の意義や、「環境を整えたり、人の意識を変えたりすれば、できることが増える」という考え方を発信します。

*『I'mPOSSIBLE』日本版アスリートアンバサダーの学校訪問のリクエストは、現在受け付けておりません。

2. 『I'mPOSSIBLE』日本版について

■『I'mPOSSIBLE』日本版について

URL: <https://www.parasports.or.jp/paralympic/iampossible/>

国際パラリンピック委員会(IPC)公認教材『I'mPOSSIBLE』日本版は、パラリンピックを題材に、多様性が尊重されたインクルーシブな世界の実現を目指し、「気づき、考え、行動を起こす」資質を育むために活用できる教材です。



【障害】の表記に付いて

近年、「障害」の表記における「害」という漢字表記について、さまざまな意見をふまえて「障がい」とひらがなで表記することが増えています。本事務局でもこうした動向を理解していますが、読み上げソフトを使用した教材の閲覧での利便性などを総合的に判断した結果、「障害」という漢字表記を使用しています。